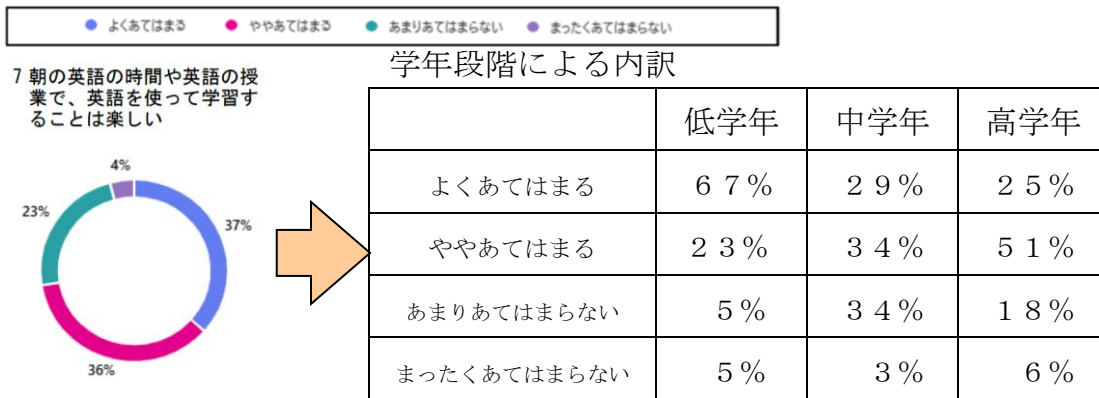


令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 児童の自己評価結果

令和7年度に、全校児童を対象に行った授業に関するアンケートでは、「英語の授業は楽しいですか」の質問に対して、「楽しい」と答えた児童の割合は全体の83%でした。アンケートの結果から、昨年度に引き続き、英語活動が英語の授業を児童にとって楽しいものにしており、児童も積極的に英語に慣れ親しもうとしていることがうかがえます。

学年ごとに見ると、低学年は90%の児童が「楽しい」と答えており、英語の授業にALTが参加したり、英語に関する掲示板を作成したりするなど、英語に触れる機会を増やしていることも要因だと考えられます。また、中学年、高学年に関しては、「楽しい」と答える児童が7割程度にとどまり、学習内容を難しいと感じている児童がいることが予想されます。分かる、話せるという体験から「楽しい」と感じることにつながるよう、児童の実態に合わせて授業内容を精選して取り組んでいくことが課題です。



2 学校教育活動診断アンケート結果

令和7年度に、保護者へ行ったアンケートでは、「子供は朝の英語学習やALT、ST、担任との英語の学習が楽しいと話している」の質問に対して、全体の75%が「あてはまる」と答えています。今後も引き続き英語活動をより充実させ、保護者へ活動の内容や様子を伝え、英語活動への理解を促進していくことが令和8年度の課題です。



3 まとめ

自己評価結果でも述べたように、児童にとって英語活動は楽しいものとなっています。このことは、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、外国語活動、英語活動を通して外国語の学習への確かな学びにつながっています。

令和7年度に行った台湾の小学校とのオンライン交流会等、今後も「話す」機会を広げて、英語活動で学習したことを生かすことができるよう、場の設定や教材研究を積み重ねていく必要があると考えます。